

平成29年度 歴文税タイムズ

～歴史と文化の環境税の使いみち～

(平成29年度実施事業)



「ゆめ」です



「未来」です

(写真については、過去に実施した時のものを含みます。)

太宰府市 市民生活部 税務課

平成30年10月更新

太宰府ブランド創造協議会事業

《決算額》【全体事業費 3,000千円】
（うち充当額 3,000千円）

太宰府観光協会、太宰府市商工会、太宰府天満宮及び太宰府市の4団体で構成した「太宰府ブランド創造協議会」を平成17年4月に立ち上げ、観光や産業の振興の観点から、太宰府ならではの新たなブランドの創造に向けた調査・研究及び事業を展開します。

“光”をテーマとして、住民自らが地域資源(光)を磨く取組みを実施します。

【平成29年度事業概要】

- ①太宰府の歴史的文化遺産等の素晴らしさを引き出す取組みとして“光”のイベント「太宰府古都の光」を実施しました。(地域再発見)
- ②まち全体に「和の風情」とおもてなし意識を波及させるため、7月7日から8月7日の期間に歴史、文化、観光情報等の魅力発信(“光”を放つ)事業として、また来訪者への“もてなし”事業として「ゆかたde太宰府～古都の夏」を実施しました。また、7月24、25日には浴衣の着付け企画を実施しました。



古都の光 (観世音寺)



古都の光 (水城跡)



ゆかたde太宰府

史跡地ライトアップ事業

《決算額》【全体事業費 2,177千円】
（うち充当額 2,177千円）

観世音寺、戒壇院などの境内の文化財を年末年始や季節に応じてライトアップし、太宰府の魅力を広くアピールします。

【平成29年度事業概要】

8月1日から8月5日に水城跡西側

12月30日、31日、元日に観世音寺、戒壇院

3月16日から3月18日に日吉神社

来訪者にも喜ばれるイベントとなっています。



水城跡



戒壇院



日吉神社

史跡地保存活用整備事業

《決算額》【全体事業費 11,552千円】
（うち充当額 4,032千円）

特別史跡水城跡、特別史跡大宰府跡は、遺跡の価値だけではなく、福岡都市圏の中で大野城跡とともに貴重な緑地を形成しています。特別史跡を保存活用するための整備をすることにより、多くの人達に特別史跡に触れていただき、史跡散策はもとより、豊かな緑の中でさまざまな活動を行うことで、憩い、癒し、リフレッシュのできる場を提供するものであり、あわせて文化財保護の意識を普及するものです。

【平成29年度事業概要】

水城跡西門西側の樹木整理工事を実施しました。
平成30年度に向けて、水城跡西門西側園路周辺での整備工事に伴う実施設計を行いました。



水城跡

史跡地保存管理事業

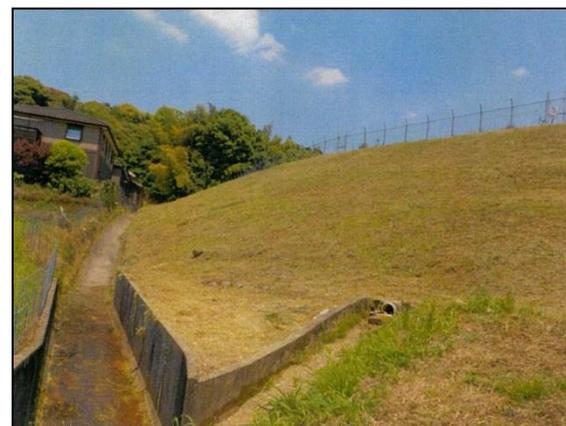
《決算額》【全体事業費 39,836千円】
（うち充当額 9,959千円）

太宰府市の約16%を占める史跡地の維持管理を行い、市民及び来訪者に親しまれる空間をつくります。

【平成29年度事業概要】

- ①史跡地内の草刈・清掃管理(26ha)
- ②史跡地トイレ9箇所(観世音寺、大宰府展示館、蔵司、月山、政庁北、水城跡2箇所、国分寺跡、竈門神社)の管理維持管理費(清掃料、電気代、水道代、下水道代、汲取料)

毎年、約5万㎡の史跡地を公有化しています。そのため、管理を要する面積は年々増加しており、今後も増加していくと考えます。



史跡地の草刈

太宰府子どもじまん認定事業

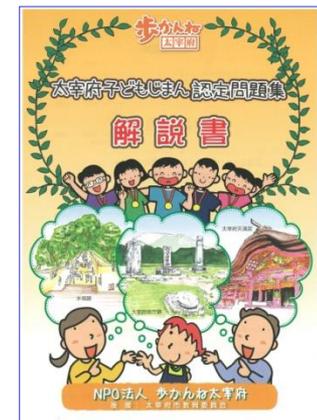
《決算額》【全体事業費 626千円】
（うち充当額 626千円）

文化や歴史遺産に囲まれ、日々生活をしている子ども達が認定に取り組み自主的に郷土を認識し知識を広め、楽しく自然や遺跡に触れることにより、太宰府の将来を担う子ども達に自分の郷土に誇りや興味を持たせることを目的とし実施します。

【平成29度事業概要】

NPO法人「歩かね太宰府」が作成した「太宰府子どもじまん認定問題集」とその「解説書」を購入し、市内小学校6年生全員に授業の中で活用してもらいました。

教育委員会が進めている「だざいふ・ふるさと学習の推進」にも寄与しています。



まるごと太宰府歴史展事業

《決算額》【全体事業費 1,000千円】
（うち充当額 1,000千円）

先史時代から近現代に至るまでの全時代を通じて紹介する展覧会を開催することにより、広く市民、観光客に対し太宰府の歴史を検証・再発見していただきます。また本市の地域性・風土が形成されてきたことを歴史の散歩道の中核を担う「太宰府市文化ふれあい館」で開催することにより、回遊性を高め、「まちぐるみ歴史公園」として市内各地へも訪れていただくことを目的とし実施します。

【平成29年度事業概要】

8月5日から11月3日まで「まるごと太宰府歴史展2017」を開催。平成29年度のトピックとして、新たな太宰府市指定文化財の紹介等を行いました。

日本遺産にも認定された「歴史のまち」太宰府を感じていただいています。



歴史的風致維持向上計画関連事業

《決算額》【全体事業費 17,964千円】
（うち充当額 4,491千円）

太宰府における固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している良好な歴史的環境を維持向上するため、「歴史的風致維持向上計画」に基づき、ハード及びソフト事業を総合的に展開します。

【平成29年度事業概要】

①どんかん道・日田街道・参詣道・歴史の散歩道サイン整備事業

- ・老朽化した誘導サインの改修(1か所)を行いました。

②歴史的風致形成建造物保存修理事業

- ・小鳥居小路に建つ明治期の土蔵1軒、及び天満宮参道沿いに建つ大正期の歴史的風致形成建造物2軒の保存修理を行いました。
- ・日吉神社本殿・拝殿の保存修理に向けた調査設計を行いました。



歴史的風致形成建造物保存修理

臨時駐車場設置事業

《決算額》【全体事業費 2,101千円】
（うち充当額 1,844千円）

交通渋滞を緩和する観点から、観光客等の駐車需要の大きい時期や場所に臨時駐車場を設置します。

【平成29年度事業概要】

正月三が日に市内5か所(市役所、太宰府小学校、水城小学校、学業院中学校、総合体育館)に臨時駐車場を設置しました。

安全でわかりやすく誘導するための表示案内板等を設置して誘導しました。



臨時駐車場
(水城小)



表示案内板

仮設トイレ設置事業

《決算額》【全体事業費 1,075千円】
（うち充当額 1,075千円）

年末年始の観光需要が大きく交通渋滞が集中して発生する時期に、市内の幹線道路周辺に仮設トイレを設置します。

【平成29年度事業概要】

正月三が日に市内6か所（学業院中学校横、大宰府政庁跡、内山、太宰府天満宮第2駐車場、松川ダム、上宝満橋）に臨時トイレを設置しました。（天満宮第2駐車場は1月8日まで）



太宰府天満宮第2駐車場

門前町美化推進事業

《決算額》【全体事業費 640千円】
（うち充当額 640千円）

多くの観光客が訪れる太宰府天満宮門前町周辺について、観光客へのもてなしの一環として、市民をはじめボランティア団体との連携を図りつつ、ごみの清掃や排出抑制の啓発を行います。

【平成29年度事業概要】

12月31日から1月4日まで、太宰府駅前広場、天満宮参道及び周辺道路の美化作業を実施しました。

毎年、観光協会と合同で、年末年始に観光客が出すゴミを収集しています。



美化作業

幹線道路周辺美化推進事業

《決算額》【全体事業費 2,278千円】
（うち充当額 2,278千円）

市民をはじめ、観光客などの来訪者が利用する幹線道路周辺について、美化推進事業のきめ細やかな展開を図るため、環境美化ボランティア団体を育成しながら、散乱ごみ清掃などの環境美化を推進します。

【平成29年度事業概要】

幹線道路周辺美化作業を実施しました。

4月～3月（7路線）

のべ作業距離約160km



幹線道路美化作業

街路樹整備事業

《決算額》【全体事業費 5,508千円】
 (うち充当額 5,508千円)

来訪者が気持ちよく市内を回遊できるように街路樹の整備を行います。
また、御笠川沿いの桜並木を整備し、新たな回遊ルートの確立を目指します。

【平成29年度事業概要】

- ①御笠川沿い街路樹整備(桜並木)
剪定、草取り、消毒、施肥を実施しました。
- ②国道3号線側道樹木管理
剪定、植樹帯草取り、消毒、散水を実施しました。



観光案内サイン整備事業

《決算額》【全体事業費 4,432千円】
（うち充当額 4,432千円）

観光客をはじめとした来訪者が市内をわかりやすく回遊できるための施設整備を計画的・継続的に進めます。

【平成29年度事業概要】

太宰府市歴史観光系公共案内サインガイドラインに基づき、案内サインの整備等を実施しました。（4か国語表記）

- ①観世音寺、榎社、神ノ前遺跡に説明板を設置
- ②坂本三丁目、観世音寺四丁目に案内サインを設置



案内サイン（榎社）

観光情報整備事業

《決算額》【全体事業費 1,095千円】
 (うち充当額 1,095千円)

歴史、文化、四季折々の風景、伝統行事やイベントなど、太宰府ならではの魅力を発信し多くの観光客等の誘致に向け、効果的な情報提供及び観光宣伝に資するための写真等の観光素材の更新を図るとともに、この素材を活用した観光用ポスターや観光パンフレット等を製作します。

【平成29年度事業概要】

観光PRパンフレットを増刷しました。

- 日本語版 88,000部
- 韓国語版 50,000部
- 中国語 20,000部
- 台湾語版 20,000部
- 英語版 10,000部



門前町フラッグ等掲出事業

《決算額》【全体事業費 863千円】
（うち充当額 863千円）

来訪者をおもてなしの心でお迎えするために、太宰府天満宮の参道にPRフラッグを掲げ、賑わいの創出を図ります。

【平成29年度事業概要】

PRフラッグを作成し、太宰府天満宮参道19箇所に掲出(外国語表記を含む)



観光客滞留時間等調査事業

《決算額》【全体事業費 1,377千円】
（うち充当額 1,377千円）

来訪者をおもてなしの心でお迎えする施策の検討のために、公共交通機関利用状況、入込者数、外国人割合等の調査を行い、国内外から訪れる観光客の動向を把握するために実施します。

【平成29年度事業概要】

①属性調査

日本人観光客、外国人観光客
観光客ではない一般人をカウント

②国籍調査

外国人に国名聞き取り調査



調査時写真

観光客向けWi-Fi整備事業

《決算額》【全体事業費 5,764千円】
（うち充当額 5,764千円）

来訪者をおもてなしの心でお迎えするために、観光客等が観光情報等を手軽に入手することができるように、インターネット接続サービスを利用することができる無料Wi-Fi環境を整備します。

【平成29年度事業概要】

- ①大野城跡、文化ふれあい館、水城跡東門にWi-Fi環境を新設しました。
- ②太宰府天満宮社務所周辺のアクセスポイントを高出力にしました。



大野城跡



水城跡東門

自転車等の利便性向上

《決算額》【全体事業費 774千円】
 (うち充当額 774千円)

レンタサイクルの借用及び返却場所が増えることにより、利便性が向上し、市内回遊の促進や滞在時間の延長につなげることを目的に実施します。

【平成29年度事業概要】

西日本鉄道株が実施するレンタサイクル事業の運営に協力し、レンタサイクルの乗り捨てに伴う駅間における自転車の運搬業務に要する費用及び電動アシスト自転車の管理運営費並びにレンタサイクル利用促進のためのPR等の補助を行いました。



レンタル自転車置き場



案内サイン

駐車場待ち車両の抑制

《決算額》【全体事業費 4,403千円】
【うち充当額 4,403千円】

正月や観梅時期、七五三など、きびしい渋滞が予想される時期に「駐車場案内システム」を導入することで、観光客や市民の皆様が、携帯電話やスマートフォンで駐車場の満空情報や位置情報、公共交通機関への乗継情報等を調べることができるようにし、渋滞の緩和に結びつけます。(http://dazaifucity-parking.com/pc/?page_id=79)

【平成29年度事業概要】

- ①年間を通じて、太宰府天満宮大駐車場、奥苑駐車場、九州国立博物館駐車場、竈門神社駐車場の満空情報及び市内各所に配置しているライブカメラによる道路状況をホームページにて配信しました。

特に、年末年始においては、満空情報を配信する駐車場の箇所を増やし、太宰府天満宮周辺地域の渋滞緩和、公共交通機関の利用促進等を図りました。

- ②12月下旬に五条交差点にライブカメラを設置し、常に道路状況を確認できるようにしました。
- ③竈門神社周辺地域における渋滞対策として、秋と春に周辺駐車場の満空情報の配信や渋滞長の調査を行うとともに、仮設ライブカメラを設置しました。



交通情報案内システム
QRコード

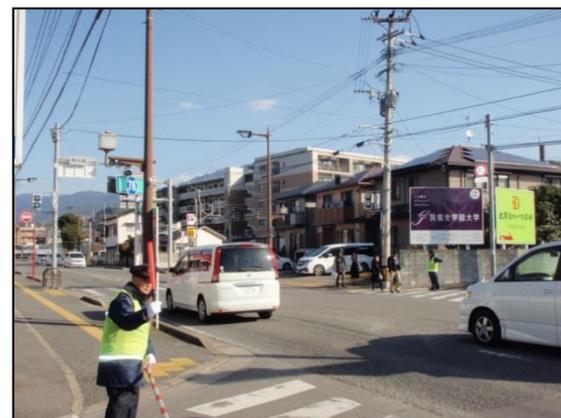
交差点交通誘導警備

《決算額》【全体事業費 4,669千円】
 (うち充当額 4,669千円)

正月三が日の初詣客対策はもとより、3月までの観梅時期等をはじめ、交通渋滞が予想される時期について、交差点内の円滑な交通誘導を図るため、五条、梅大路、奥苑の交差点に交通誘導員を配置します。

【平成29年度事業概要】

- ①大晦日、正月三が日に天満宮と協力し交通誘導員を配置しました。
- ②1月～3月の土日祝日に交通誘導員を配置しました。
- ③九州国立博物館特別展や秋の行楽シーズン等の交通渋滞時期には状況に応じて配置しました。



交通誘導（梅大路交差点）

花いっぱい運動推進事業

《決算額》【全体事業費 1,555千円】
（うち充当額 1,555千円）

まちぐるみ花いっぱい運動を推進するため、ボランティア団体への助成や史跡地の保存と活用の一環として観世音寺や水城跡にコスモスを植栽するなど、市民及び来訪者のやすらぎの場を創出します。

【平成29年度事業概要】

- ①菜の花、コスモスの栽培（水城跡、観世音寺周辺）
- ②蕎麦（そば）の花の栽培（蔵司西側周辺）



コスモス（水城跡）



菜の花（水城跡）



そばの花（蔵司西側）

施設整備・改修補助金

《決算額》【全体事業費 6,090千円】
（うち充当額 6,090千円）

太宰府市観光駐車場協会に補助金を交付し、来訪者へのおもてなしに役立てていただく事業です。

年末年始の誘導看板の設置をはじめ、交差点の誘導警備、車椅子や消火器の配備やパンフレット、アクセスマップの作成、初詣渋滞調査など、来訪者が快適になるような事業が実施されています。

【平成29年度事業概要】

太宰府市観光駐車場協会へ補助金交付



交差点警備



アクセスマップ

事務費

《決算額》【全体事業費 1,874千円】
 (うち充当額 1,874千円)

歴史とみどり豊かな文化のまちを実現するための財源として、よりよい使い道とするために協議する委員会等を支援します。

【平成29年度事業概要】

- ①歴史と文化の環境税運営協議会委員報酬・費用弁償
- ②歴史と文化の環境税領収書の印刷
- ③幹線道路周辺美化推進事業を実施する際に使用する啓発のぼりを補充しました。



運営協議会



領収書 (裏・表)

「駐車場待ち車両の抑制事業」と連携をとりながら、観光駐車場の満空情報を案内するための交通情報案内システムQRコードを表示しました。



駐車場案内システムVICIS機能構築

《決算額》【全体事業費 1,798千円】
（うち充当額 1,798千円）

太宰府天満宮周辺駐車場の満空情報をパソコン、携帯電話及びスマートフォンだけではなく、カーナビゲーション上でも満空情報を確認できる機能を構築することで、渋滞の緩和に繋がります。

【平成29年度事業概要】

12月下旬からVICISへの配信を開始し、カーナビゲーション上でも満空情報を確認できるようにしました。

「VICIS（ビックス）」とは、渋滞や交通規制などの道路交通情報を、FM多重放送やビーコンを使ってリアルタイムにカーナビに届けるシステムです。

地域交通網形成計画策定事業

《決算額》【全体事業費 14,883千円】
（うち充当額 7,863千円）

太宰府天満宮参拝の交通渋滞に加え、近年、国の施策を受け、海外からの観光客が増大しているとともに、市域をとりまく主要幹線道路の整備の進捗に伴い交通量が増えています。その交通量に対応するために平成29年度から2か年計画で、将来交通量の推計を行うとともに、交通移動手段の転換を図るために道路、交差点等の道路施設改良、交通結節点の充実、公共交通機関の検討を行い総合交通計画を改訂し、各種事業に取り組みます。

【平成29年度事業概要】

- 1 対象地区：西鉄太宰府線沿線地域
 - ①交通実態調査
 - ②交通施設整備方針の検討
 - ③将来交通量の推計
 - ④都市計画道路網の検討
- 2 総合交通計画協議会の開催
- 3 地域公共交通網形成計画策定準備



総合交通計画協議会

クルーズ船観光客対策事業

《決算額》【全体事業費 22千円】
（うち充当額 22千円）

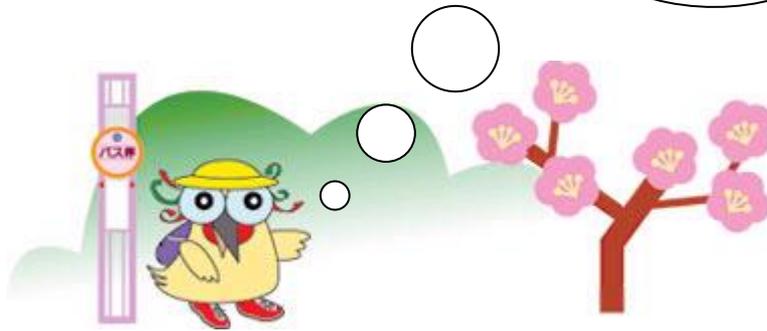
クルーズ船による外国人観光客の増加が顕著であり、その大半は天満宮駐車センターから参道を通って天満宮境内へと徒歩で移動している状況です。太宰府駅前交差点では歩車分離信号機への戸惑いもあり、車両の通行等に支障がでています。また、文化の違いから間違ったトイレ利用をされ、一般の観光客の利用に支障を来たす状況となっていることなどから、それらの対策を行い、多くの観光客に太宰府を気持ちよく観光していただけるようにします。

【平成29年度事業概要】

太宰府天満宮駐車センタートイレ、太宰府天満宮案内所横トイレにおいて、トイレの利用状況及び待ち状況カウント調査、外国人観光客へのトイレ利用アンケート調査を実施しました。

まほろば号は、ワンコイン（100円均一）運賃で市内の公共施設や観光名所・旧跡、駅を循環し、高齢者や体の不自由な人にも楽に乗り降りできるバスです。

太宰府においでの際は、是非ご利用ください。



ご利用については、市のホームページをご覧ください。



コミュニティバスまほろば号

【問合せ】

太宰府市 市民生活部 税務課 歴史と文化の環境税推進係

☎ 092-921-2121(内線380)